

みつけた！



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

# 六ヶ所村にあった日本最大級の縄文集落！

六ヶ所村立郷土館では企画展「今よみがえる富ノ沢遺跡」を開催しています。村立郷土館近くには、約5,100年前～4,100年前の竪穴住居跡が約500棟見つかった富ノ沢遺跡があります。同時代には青森市三内丸山遺跡があり、同じ北日本を代表する円筒土器文化の大集落でした。展示では約1,000年間の土器の形や文様の移り変わりが分かるように解説しています。また、ムラの移り変わりをパネル展示しています。そして土器や土偶、土製品などから”大集落の盛衰と新たに出現した集落の謎”に迫ります。なぜ、大集落が終わりを迎えたのでしょうか。ぜひ見に来てください。（開催期間9月26日迄）



約1,000年間の縄文土器の移り変わりがズラリ



富ノ沢遺跡の集落の移り変わりを解説

## マニアック学芸員のおすすめ

福島県から青森県にかけて分布する六ヶ所村が最北端

徳利形土器



六ヶ所村から遠い福島県域で似たものが出土北日本ではなかなか見られない

足形突起付土器



富ノ沢遺跡と同じ円筒土器文化圏の三内丸山遺跡出土の円筒上層e式土器を展示



祭壇と呼ばれる特殊施設がある竪穴住居跡を復元しました